

# 山田みやこの活動報告

令和3年9月25日(土)

## 学びのプロジェクト ～こどもがまんなかの公教育をどうつくる～(オンライン)

主催 多様な学びのプロジェクト  
講師 竹田 延彦氏(長野県池田町教育長)

池田町は人口9,600人の町で令和元(2019)年～令和15(2033)年の15年の間に第2次教育大綱を作成。フリースクールに携わり、学校とはと問い続けてきた30年間があった。

原点は学校が子どもに合わせるべきという考え。自分と仲間の幸せを大切にできるひとづくりのために、「学習者本位」「多様性尊重」「自己決定の原則」「安心・自由の保障」を重視。

「こどもがまんなか」の  
公教育をどうつくる？  
長野県・池田町 竹内教育長と話そう

9月25日(土) 14:00～16:00  
オンライン・録画動画付き  
16:00～16:30 参加者交流会 (自由参加)

長野県北安曇郡  
池田町教育長  
竹内延彦

多様な学びプロジェクト  
生駒知里

基本理念は

《こどもがまんなか・みんな大切・学びの主人公》

体験→考える→決定→達成感→幸せ→安心→自己決定→自信→挑戦

自主性・主体性はやりたいことの中でしか育たない。そこで幼保小中をつなぐことの重要性がある幼児期の育ちと学びの環境がポイント。6歳までに90%の脳細胞が出来上がる、自然保育との出会いで幼児教育に活かす。教師側の理解が必要と考え、小学校の教師が保育園を互いに参観している。

保育園・幼稚園の育ち、学びが一番大切。考える人→支える人に。子ども一人ひとりのエピソードを語る、前例からの脱却、幸福感はお金・学歴ではない、教育制度は地方分権化すべき。

※池田町の第2次教育大綱は15年間のもの。誰が引き継いでも出来るものにした。子ども主体の遊育、原っぱ型の教育で自ら遊びのルール作りが出来ること。自ら拓き、共に生きる姿をつくっていくという竹内教育長は今年度で教育長を辞する。池田町からの発信を全国で受け止められるよう願うばかり。